



VALETON | DAPPER INDIE

取扱説明書

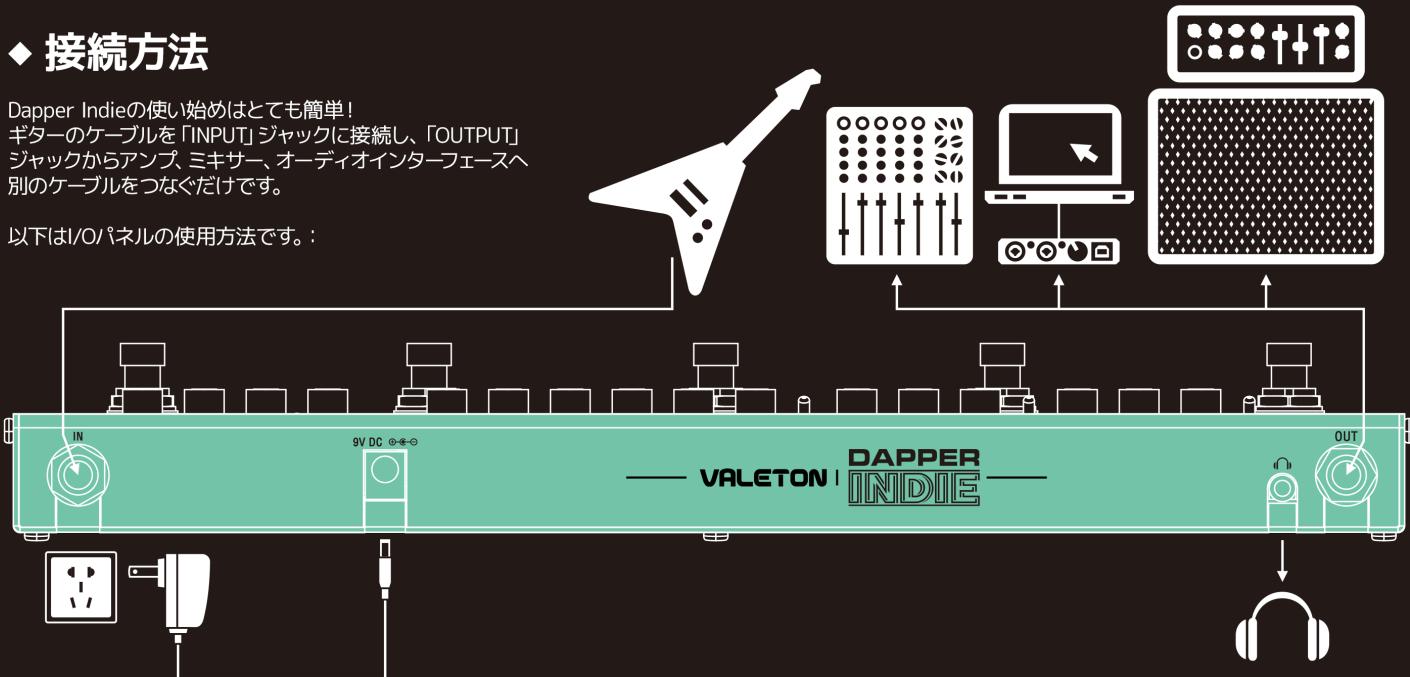
アンビエント、インディー、エクスペリメンタル系のロッカーや型破りなプレイヤーのために特別に設計されたDapper Indie。このオールインワン・ペダルは独立心を存分に発揮するためのツールです。必要なすべての機能に加え、創造性を刺激するインスピレーションも詰まっています。

本マニュアルをお読みいただき、Dapper Indieを最大限に活用してください。

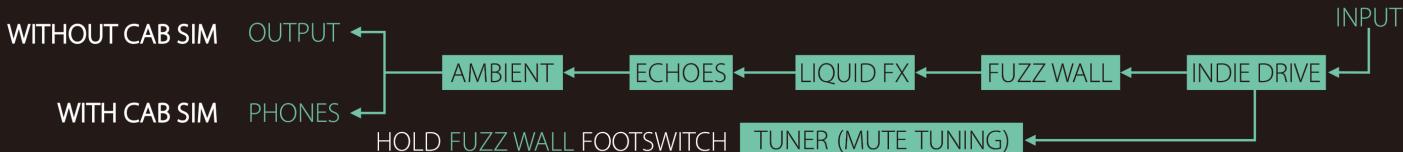
◆ 接続方法

Dapper Indieの使い始めはとても簡単！
ギターのケーブルを「INPUT」ジャックに接続し、「OUTPUT」
ジャックからアンプ、ミキサー、オーディオインターフェースへ
別のケーブルをつなぐだけです。

以下はI/Oパネルの使用方法です。：



◆ シグナルパス



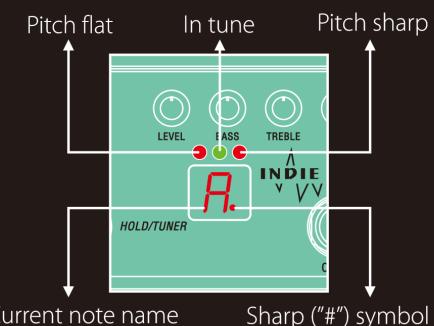
◆ モジュール（信号の経路）

TUNER

大きくて見やすく、反応が速く高精度なチュナーです。これにより、常に正確にチューニングされた状態で演奏できます。

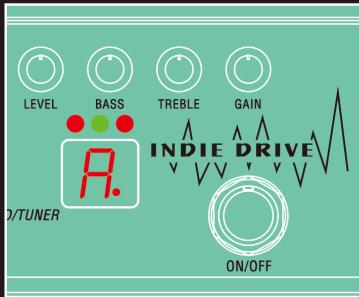
FUZZ WALLモジュールのON/OFFスイッチを長押しすると、チュナーが起動します。このモジュールが有効になると、Dapper Indieは自動的にミュート状態になります。

画面には音名が表示されます。画面右下のドットは「シャープ / #」を意味します。
LEDによってピッチの正確さ（チューニングの合い具合）が表示されます。



DAPPER
INDIE

EFFECTS STRIP



INDIE DRIVE —

クラシックなアンダーグラウンドのロックンロール・シーンを思い起こさせるサウンドを提供します。ウォームなクリーントーンから、荒々しく歪んだソロサウンドまで、幅広い音作りが可能です。



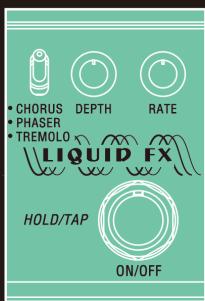
FUZZ WALL —

攻撃的な“ファズ・ウォール”を作りたいときは、このモジュールをオンにしましょう。

インディ・ドライブモジュールと同様に、幅広いトーンレンジを持つコントロールで、まさに“マフ系”的のパワーを感じさせるサウンドが得られます。

コントロール
LEVEL: 出力音量を調整
BASS / TREBLE: 低音域(ベース) / 高音域(トレブル)のEQを調整
GAIN: 歪みの強さ(ゲイン量)を調整

コントロール
VOL: 出力音量を調整
LOW / HIGH: 低音域(ロー) / 高音域(ハイ)のEQを調整
FUZZ: ファズ効果の出力レベルを調整



LIQUID FX —

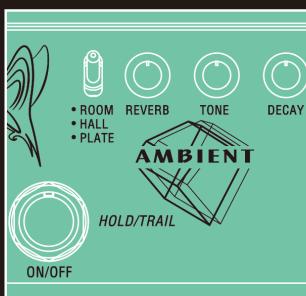
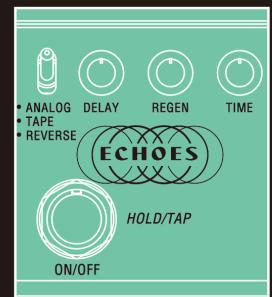
人気のある3つの高品質モジュレーション効果をひとつにまとめました。クラシックにインスピアされたエフェクトと、現代的なサウンドの両方を楽しめます。スリーウェイのトグルスイッチで、お好みのエフェクトを選んでください！

フットスイッチを長押しすると、タップテンポ機能が有効になります。曲のリズムに合わせて足でタップすると、RATE(レート)LEDが点滅して設定した速度を示します。もう一度フットスイッチを長押しすると、ノブによるテンポ制御モードに戻ります。

コントロール
TYPE toggle: コーラス、フェイザー、トレモロの中からエフェクトタイプを選択
DEPTH: エフェクトの深さ(効果の強さ)を調整
RATE: エフェクトのスピードを調整

3つのエコーで、かけがえのない記憶を呼び起しあいましょう。フットスイッチを長押しするとタップテンポ機能が有効になります。曲のリズムに合わせて足でタップすると、TIME(タイム)LEDが点滅して設定したディレイ時間を示します。もう一度フットスイッチを長押しすると、ノブによるテンポ制御モードに戻ります。

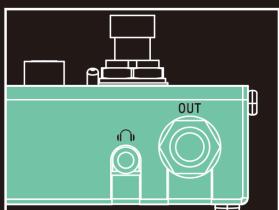
コントロール
Toggle: 3つの異なるディレイモードを選択
-ANALOG: 温かみのあるヴィンテージなディレイを生成
-TAPE: テープマシンのエコーをシミュレート
-REVERSE: フィードバックが逆再生されたディレイを生成
DELAY: エフェクトの音量を調整
REGEN: ディレイの繰り返し回数を調整
TIME: ディレイ時間を25msから2000msの範囲で調整



AMBIENT —

曲に壮大な広がりを与えましょう。自然な減衰(ディケイ)を持つ3つのリバーブモードを搭載しています。フットスイッチを長押しすると、エフェクト・トレインのオン/オフを切り替えられます。ノブの下のLEDが点滅して、切り替えが行われたことを知らせます。

コントロール
Toggle: 3つのリバーブモードから選択
-ROOM: 部屋の音響をシミュレート
-HALL: ホールの音響をシミュレート
-PLATE: プレートリバーブをシミュレート
REVERB: リバーブの量を調整
TONE: 音の明るさを調整
DECAY: リバーブの持続時間を調整



PHONES AND CAB SIM

ヘッドホンを接続すれば、周囲を気にせず静かに演奏できます。このジャックにはキャビネットシミュレーターが内蔵されているため、Dapper Indieをヘッドホンに直接つなぐだけで、まるでスタックアンプを通して演奏しているようなサウンドが得られます。また、このジャックからライン出力も可能で、直接録音やPAシステムへの接続にも対応しています。

ヘッドホンの出力音量は、モジュールの設定によって影響を受けます。



◆仕様

入力インピーダンス: 1MΩ
出力インピーダンス: 100Ω
電源: 9V DC センターマイナス
消費電流: 150mA
サイズ: 520mm(奥行) × 65mm(幅) × 42mm(高さ)
重量: 650g

※本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。